

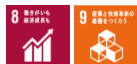
事業名： 持続可能な地域の未来を創造する人づくり～教育力日本一ふくいの挑戦～

提案者名： 福井県

取組内容の概要： 「幸福度日本一」の基盤を持つ福井県において、日本一と評される教育力や長い歴史の中で培われてきたものづくりの技術を活かしながら、未来を担う人材を育成し、次世代に選ばれる持続可能な地域社会の実現につなげる。

【背景】・福井県が昨年7月に策定した「福井県長期ビジョン」では、SDGsの理念に沿いながら2040年に福井県が目指す姿を描いている。
 ・令和2年8月に創設したSDGs推進のための官民連携プラットフォーム「福井県SDGsパートナーシップ会議」には、企業、金融機関、各種団体、教育機関、自治体など、280を超える多様な主体が参加している。(R3.3.1現在)※

経済



関係人口の増加による
地域経済の担い手の増加

魅力のある仕事の増加による若者の
流出抑制とU/Tアンの増加

社会



(課題)ものづくり産業から
「価値づくり産業」への進化

(課題)千年文化の継承と
新たな交流の創出

ふくい未来人材育成プロジェクト

県と「福井県SDGsパートナーシップ会議」が連携し、日本一の教育力を活かして、地域を守り発展させる次世代人材を育成

①「価値づくり産業」
の担い手

②千年文化継承の
担い手

③スマートエネルギー
促進の担い手

育成

育成

育成

PTメンバー

地域金融機関、地元繊維
企業、情報通信企業、地元
小中高校 等

PTメンバー

まちづくり団体、伝統工芸品
製造企業、観光関連企業、
地元小中高校 等

PTメンバー

環境活動団体、電力会社、
自動車販売会社、ハウス
メーカー、地元小中高校 等

福井県SDGsパートナーシップ会議



令和2年8月創設
現在280以上の企業・団体が参加 (R3.3.1現在)※
3分野ごとにPTを設置し、
人材育成を推進



●成功した経営者が新たな起業家を育成することで経営資源の循環を生み出す「福井型エコシステム」の構築

●新技術を活用したスマート農林水産業の普及による若者に魅力のある一次産業の確立

●県内企業の技術を集結した県民衛星「すいせん」の製造技術を活用した航空・宇宙産業の拠点化

●デザイナー・クリエイターとの協働により、高い技術力で生み出された商品に価値を付加し、地域産業をブランド化



●千年以上の歴史を持つ伝統工芸の産地において、若手職人やデザイナーが中心となって開催するモノづくりイベントの拡大



●伝統行事や祭りを活性化する若者のチャレンジを、クラウドファンディングやふるさと納税を活用して応援

●県外学生が長期滞在し、住民とともに課題解決に取り組むアートキャンプの拡大

●オンリーワンの恐竜、年縞の研究成果を活かした世界的な学術拠点の創出

環境



(課題)環境エネルギー先進エリアの形成

●全国初の広域VPPを核とした独自のスマートエリア構築と全県への展開

●小水力発電、風力発電など、地域資源を活用した再生可能エネルギーのさらなる導入推進

●再エネ由来の水素ステーション開発やFCV、ドローン燃料への活用などによる、ローカル水素サプライチェーンの構築

●省エネやEVカーシェア、ZEHの普及など、全県一体となった「ゼロカーボンアクション」の推進



イノベーションによる
新たな環境技術の創出

環境意識の向上による
環境ビジネスの活性化

暮らしやすさの向上による
定住人口の増加

若者の地域活動参加や
交流人口の増加による
環境活動の担い手増加